

Bringing light into dark places: The Lighthouse MBT-Parenting Programme

暗い場所に光を

ライトハウスMBT-子育てプログラム

10.23 2024 9:00 ▶ 12:00 通訳あり
[WED] (OPEN 8:45) 参加無料

会場 早稲田大学早稲田キャンパス 26号館 地下多目的講義室

※ハイブリット開催ですが、講師とパネリストは会場にあります。ぜひ、会場にお越しください。

対象 社会的養護に関わる支援者・養育者・研究者・学生・またはこの分野にご興味のある方

ライトハウスMBT-子育てプログラムは、ジェリー・バーン氏により提唱されたハイリスク家庭への支援を目的としたプログラムです。このプログラムは、リスクをアセスメントしながら家族の変化可能性について検討するものです。この度、早稲田大学社会的養育研究所主催のもと、ジェリー・バーン氏による講演会を開催いたします。講演ではライトハウスMBT-子育てプログラムの生まれた歴史について、講師よりご紹介いただきます。また、パネリストに群馬病院児童思春期医療部長 児童精神科医師の渡部京太氏を迎え、会場の皆様と共に、これからの養育者支援・家族支援のあり方について考えます。

講師

ジェリー・バーン氏
Gerry Byrne

31年以上のハイリスク家庭への支援キャリアをもつ。ライトハウスMBT-子育てプログラムの提唱者。2001年からはコンサルタント看護師（病棟ナースのリーダー）を務めた。入院中の思春期や青年期の子どもへの支援、ハイリスク家庭への支援、乳幼児や周産期への支援を実践している。



パネリスト

渡部 京太氏

児童精神科医。特定医療法人群馬会群馬病院児童思春期医療部長。1993年山形大学医学部を卒業し、1997年山形大学医学部大学院を修了。その後、斗南会秋野病院、国立国際医療研究センター国府台病院児童精神科、広島市こども療育センターで勤務し2022年から現職。



お申し込み

※以下のGoogleフォームまたは右の二次元コードより、事前のお申し込みをお願いいたします。

※オンライン参加の場合もお申し込みが必要です。

お申込みいただいた方にZoomをお送りします。

https://docs.google.com/forms/d/1g5N9F8Ydi7j_hU_WxCE2tPdZxQcBwZ8cw4u7wwVs75s/edit

Googleフォームでの送信が難しい場合、waseda.ricsc@gmail.com まで、【氏名・ご所属・ご職業・ご連絡先】を明記の上、メールでお申し込みください。

参加申込締切：2024年10月20日(日)午前10:00まで



お問い合わせ

早稲田大学社会的養育研究所

担当：那須

Email : waseda.ricsc@gmail.com

主催：早稲田大学社会的養育研究所

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION